

ご取材のお願い

平成 25 年 7 月 18 日
岩手県 洋野町
公益財団法人 ヤマト福祉財団

岩手県〔製氷・貯氷施設回復支援事業〕 洋野町 製氷・貯氷施設完成に伴う竣工式について

公益財団法人ヤマト福祉財団（本部：東京都中央区、理事長：有富慶二、以下：ヤマト福祉財団）「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金※」の第 3 次助成先の一つである岩手県の洋野町では、建設中であった製氷・貯氷施設が完成、7 月 25 日(木)午後 3 時より竣工式を執り行います。

岩手県沿岸北部に位置する洋野町は定置網漁によるサケ漁と「つくり育てる漁業」の象徴であるウニ漁が盛んで「ウニの里」のブランドで知られる水産業の町です。しかし東日本大震災の津波により水産関連施設は壊滅的な被害を受けました。町ではいち早い水産業の復興を目指し、昨年 3 月に八木北港に町営魚市場を再建し、復興へ大きな一歩を踏み出しました。しかし、水産業に必要不可欠な製氷・貯氷施設の再建が大きな課題となっていました。

ヤマト福祉財団では洋野町の基幹産業である水産業の復興の為、氷を安定供給できる製氷・貯氷施設の建設費用として、平成 23 年 12 月に 2 億 3183 万円の助成を決定致しました。その後、事業費の減額により 2 億 2,328 万円の助成となりました。（補助対象事業費 10 億 478 万円の内、岩手県、洋野町の負担分の 2/9 を助成するものです）

昨年 11 月 12 日には地鎮祭が執り行われ、この度、竣工の運びとなりました。



再建した町営魚市場



建設途中の施設



完成予想図

岩手県、洋野町の水産業は復興途上にあります。港の設備が整うごとに徐々に活気を取り戻しています。震災による被害を乗り越え、より力強い復旧・復興に向かう洋野町と本式典の模様を何卒ご取材賜りますよう、お願い申し上げます。

本件に関する報道関係の皆様方からのお問い合わせは下記までお願いいたします。

洋野町 水産商工課

担当：一郷（0194-65-5916）

公益財団法人 ヤマト福祉財団

担当：早川・渡辺（03-3248-0691）

記

1. 日時 平成 25 年 7 月 25 日 (木) 午後 3 時より

2. 場所 洋野町 製氷・貯氷施設

住所 岩手県九戸郡洋野町種市第 3 地割 85 番地 1

3. 主な出席者 (敬称略)

(1) 洋野町

町長 水上 信宏

(2) 岩手県

県北広域振興局長 高橋 信

(3) 種市南漁業協同組合

代表理事組合長 原子内 辰巳

(4) 公益財団法人ヤマト福祉財団

東日本大震災復興支援選考委員会 事務局長 山内 信幸

4. 施設概要

[新施設]

建物仕様 鉄筋コンクリート造り 一部鉄骨造り 一部 2 階建て

延床面積 : 1,526.27 m²

製氷能力 : 71.8 t / 日

貯氷能力 : 300 t

[旧施設]

建物仕様 鉄骨スパンクリート造り 一部 2 階建て

延床面積 : 1,495.20 m²

製氷能力 : 50 t / 日

貯氷能力 : 1,000 t

※ 公益財団法人ヤマト福祉財団「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」は、東日本大震災で被災された地域の生活基盤の復興や水産業・農業の再生を支援することを目的に創設されました。平成 24 年 6 月 30 日をもって募金と助成の募集は終了させていただきました。募金につきましては、142 億円 3608 万 1360 円となったヤマトグループの「宅急便 1 個につき 10 円の寄付」をはじめ、広く一般から募金をたまわり、総額 142 億 8448 万 751 円となりました。助成につきましては、見える・速い・効果の高い支援を基本方針に国の補助のつきにくい事業や単なる資金提供だけでなく新しい復興モデルを育てるために役立てていくことを目指して、第 5 次までに助成対象 31 件に対し、総額 142 億 6600 万円の助成を行っています。詳細につきましては、ヤマト福祉財団のホームページ (<http://www.yamato-fukushi.jp/>) をご参照ください。